

デジタルプログラムクロック

取扱説明書

電波クロック

掛置兼用

このたびはセイコークロックをお買い上げいただき、ありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくご愛用くださいますよう
お願い申し上げます。
なお、この取扱説明書はお手元に保存し、必要に応じてご覧ください。

特 長

- 電波修正機能つきデジタル時計（福島・九州の東西電波を自動選局）
- お好きな時刻をチャイムやメロディでお知らせするプログラム機能つき（曜日ごとに設定を変えることができます）
- 毎正時にメロディでお知らせする正時メロディつき
- 時刻（時・分・秒）、カレンダー（月・日・曜日）、六曜、温度、湿度を表示
- 電池切れ予告機能つき
- 置いても使える便利なスタンドつき

※ 電波を受信できない場合でも、クォーツ時計としてお使いいただけます。

警告

<アルカリ電池について>

- (1) ショート、充電、分解、加熱、火に入れるなどしないでください。
アルカリ性溶液がもれて眼に入ったり、発熱、破裂の原因となります。
- (2) 万一、アルカリ性溶液が皮膚や衣類に付着した場合にはきれいな水で洗い流し、眼に入ったときは、きれいな水で洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。

注意

<掛け方について>

時計は確実に掛けてください。落下により、けがおよび器物を破損する恐れがあります。

掛ける場所、壁の材質・構造をご確認の上、この時計の重さに充分耐えられる掛け具を選んでください。

ご使用の際は同梱の案内文も必ずお読みください。記載以外の取付面の場合は、建築メーカー等へご相談ください。

※掛け具に時計を掛けた際、時計を上下左右そして手前に軽く動かし、正しく掛かっていることを確認してください。

木の厚い壁・木の柱に掛けるとき
添付の木ねじをご使用ください。

石膏ボードの壁に掛けるとき
(※製品によって掛け具は付属しません。)
掛け具が付属している場合は添付の掛金具、釘をご使用ください。付属していない場合は市販の掛け具をご使用ください。



コンクリート等、上記以外の壁・柱に掛けるとき
添付の掛け具は使用しないでください。市販の掛け具をご使用ください。
※市販の掛け具によっては正しい掛け方ができない場合があります。<掛け方について>をよくお読みのうえ、本製品に適した掛け具をご使用ください。

<時計の設置場所について>

落下や転倒により、けがおよび器物を破損する恐れがありますので、振動のある所や、不安定な場所には時計を設置しないでください。

<梱包用ポリ袋について>

ポリ袋は絶対にかぶらないでください。

<梱包用ポリ袋について>

掛け具を保管する際には、お子様の手の届かない場所へ保管してください。万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

<電池について>

下記のことを必ず守ってください。電池の使い方を間違えますと液もれや破裂のおそれがあり、機器の故障やけがなどの原因となります。

- (1) 電池は必ず⊖側から入れてください。また⊕⊖を正しく入れてください。
- (2) 製品仕様の電池寿命を経過した場合は、時計がまだ動いていてもすべて新電池と交換してください。
また、時計を使わないときは電池をすべてはずしてください。電池の一部の交換や、電池を入れたままにしておくと、他の部分の止まりや古い電池からの液もれ等で時計や、周囲の物を汚したり、傷めたりする恐れがあります。
- (3) 付属の電池は充電式ではないので充電すると液もれ、破損のおそれがあります。
- (4) 電池に直接ハンダ付けしたり、水滴をつけないでください。
- (5) 直射日光・高温・高湿の場所を避けて保管してください。また使用済みの電池は、速やかに処分または幼児の手の届かないところに保管してください。
- (6) 時計が動かない等の場合、電池端子が汚れている場合があります。
やわらかい布などでクリーニングしてください。
- (7) 付属の電池は工場出荷時より付けられている動作を確認するためのモニター用電池（お試用電池）です。お買い上げ後、仕様の年数に満たないうちに電池寿命が切れることがあります。
- (8) 充電式電池や初期電圧が高い電池は使用しないでください。
正常に動作しない、電池寿命が短くなるなどの不具合が発生する場合があります。

<液晶パネルについて>

液晶パネルが破損した場合、ガラスおよび中の液晶には十分に注意してください。

万一以下の状態になったときは、それぞれの応急処置を行ってください。

- (1) 皮膚に付着した場合は、付着物をふき取り、水で流し、石けんでよく洗浄してください。
- (2) 目に入った場合は、きれいな水でよく洗い流し、最低15分間洗浄した後、直ちに医師の診断を受けてください。
- (3) 飲み込んだ場合は、きれいな水でよく口の中を洗浄してください。
大量の水を飲んで吐き出した後、直ちに医師の診断を受けてください。

必ずお読みになってからご使用ください。 使用場所・お手入れ

<使用場所について>

下記のような場所では使わないでください。

製品や電池の品質が確保されなくなり、精度不良や電池切れを起こすことがあります。また本商品は業務用ではありません。

- 温度が-10℃（氷点下10度）以下になる所。
- 温度が+50℃（50度）以上になる所や直射日光のあたる所。
例えば、屋外、暖房器具などの熱風や火気に近い所。
- 浴室など湿気の多い所。また、水がかかる所や加湿器の蒸気が直接あたるような所。
- 強い磁気や振動のある場所。不安定な所。
- 電波ノイズを発生させるものの近く。
- 塵、埃の多い所。
- 工場、台所などの多くの油を使用する所に使用しないでください。
- ビニール系素材の壁や敷物等の上。壁や敷物および時計が汚れたり、傷んだりすることがあります。

<お手入れについて>

- 枠をふくときは、湿った、やわらかい布でふいてください。
- よごれがひどいときは、水でうすめた中性洗剤を少量、やわらかい布につけてふき、ふいた後で乾ききってください。
- ベンジン、シンナー、アルコール、ミガキ粉、各種ブラシなどは使わないでください。殺虫剤、ヘアスプレーなどもかからないようにしてください。変色、傷の恐れがあります。

<液晶パネルについて>

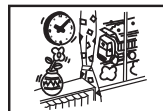
- 透明シールをはがしたときに液晶パネル面がしばらく黒くなる場合があります。
- 見る方向によって表示が薄くなったり、ムラになったりすることがあります。
- 温度が低くなると液晶表示の反応が遅くなる場合があります。
- 温度が高くなると液晶パネル面が黒くなり、判読できなくなることがあります。
- 液晶パネル面に触れないでください。表示が薄くなったりムラになることがあります。しばらく放置しますと元に戻ります。



暑い場所（+50℃以上）



寒い場所（-10℃以下）



振動の激しい場所



湿気の多い場所



■電波時計／電波修正機能とは

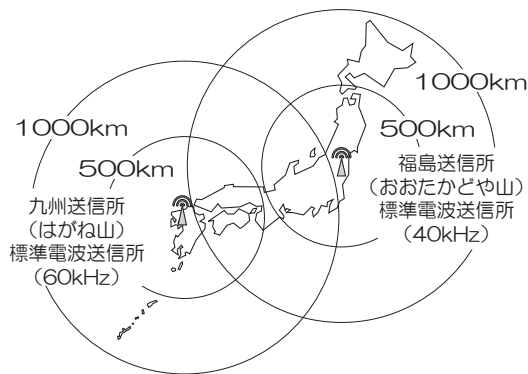
正確な時刻およびカレンダー情報をのせた標準電波を受信することにより、現在時刻を表示する時計です。

■標準電波とは

情報通信研究機構（NICT）が運用している時刻情報をのせた電波で、国内2カ所の標準電波送信所からそれぞれ異なる周波数で送信されています。標準電波の時刻情報はおよそ10万年に1秒の誤差という超高精度を保つ『原子時計』によるものです。

■電波受信について

標準電波が受信可能な地域は条件によって異なりますが、送信所（東・西2ヶ所）からおおむね1000km～1200kmです。この製品は40kHz（東・福島送信所）、60kHz（西・九州送信所）のいずれか受信しやすい電波を自動的に選択し受信します。ただし、天候、置き場所、時計の向き、時間帯あるいは地形や建物の影響などによって受信できない場合があります。



■ご注意

- 電波障害等により、誤った受信をした際に、誤った時刻を表示する場合があります。また使用場所・電波状況によっては受信できないことがあります。このような時は、場所を変えてお使いください。
- 電波を受信できない場合は、内蔵クォーツの精度で計時します。
- 標準電波は、毎時15分と45分からの各1分間はコールサインの送信を行うため一部時刻情報の送信を中断します。また設備のメンテナンスや落雷などの影響により停波することがあります。停波に関する情報は、弊社ホームページをご覧ください。お客様相談室にお問い合わせください。（ホームページアドレス <http://www.seiko-clock.co.jp>）

■使用場所について

本製品は、テレビやラジオと同様に電波を受信するものです。ご使用の際はできるだけ、電波を受けやすい窓際などにおいてください。次のような環境条件では正確に受信できないことがあります。

- ビルの中、ビルの谷間、地下。
- 高圧線、テレビ塔、電車の架線の近く。
- テレビ、冷蔵庫、エアコン、空気清浄機、パソコン、ファクシミリ等の家電製品やOA機器の近く。
- 工事現場、空港や軍事基地の近く、交通量の多い所など、電波障害の起きる所。
- 乗り物の中（自動車、電車、飛行機など）
- その他電波ノイズを発生させるものの近く。
- スチール机等の金属製の家具の上や近く。



▶ 保証・アフターサービス

- この時計はメーカー保証です。保証の内容については保証書をご覧ください。尚、保証書は日本国内のみ有効です。また、アフターサービスも海外ではできません。
- 保証期間中の保証規定に基づいた修理品は、お買い上げ店がお預かりし、メーカーが無料で修理または同等品と交換いたします。必ず販売店名捺印の保証書を添えてご依頼ください。
- 保証期間中でも無料保証の対象とならない修理品および保証期間経過後の修理品は、ご希望により有料で修理させていただきます。
- この時計の修理用部品は3年間保有しています。この期間は原則として修理が可能です。修理用部品とは製品の機能を維持するために不可欠な時計本体の部品です。修理の可能な期間は、ご使用条件により異なります。また修理可能な場合でも元通りの精度にならない場合があります。お買い上げ店とよくご相談ください。
- 修理のとき、部品・その他の付属品は、一部代替部品を使用させていただくこともありますので、ご了承ください。
- 保証期間中・経過後とも、修理品はお客様がお買い上げ店にお持ち込みいただけます。修理を依頼されるときは、お買い上げ店にご持参ください。
- 保証期間外、もしくは無料修理の対象とならない修理の際は、本体の修理料金のほか、取扱店と修理工場との間の往復運賃、諸掛かり費用をお客様にご負担いただきます。代金が標準小売価格を上回る場合があります。
- お客様が分解しますと修正不可能になる場合やけがの恐れがあり危険です。また保証の対象外となります。

▶ 付属品 ご使用の前にご確認ください。

- 取扱説明書（本書） 1枚
- 保証書 1枚
- モニター用電池（単3形乾電池）6個
- 木ねじ1本（木の厚い壁・木の柱専用）
- ※石膏ボード用掛け具（掛金具1個、釘5本（うち1本は予備））は製品によって付属しません。
- ※付属の電池は、動作を確認するためのモニター用電池（お試用電池）です。お買い上げ後、仕様の年数に満たないうちに電池が切れることがあります。

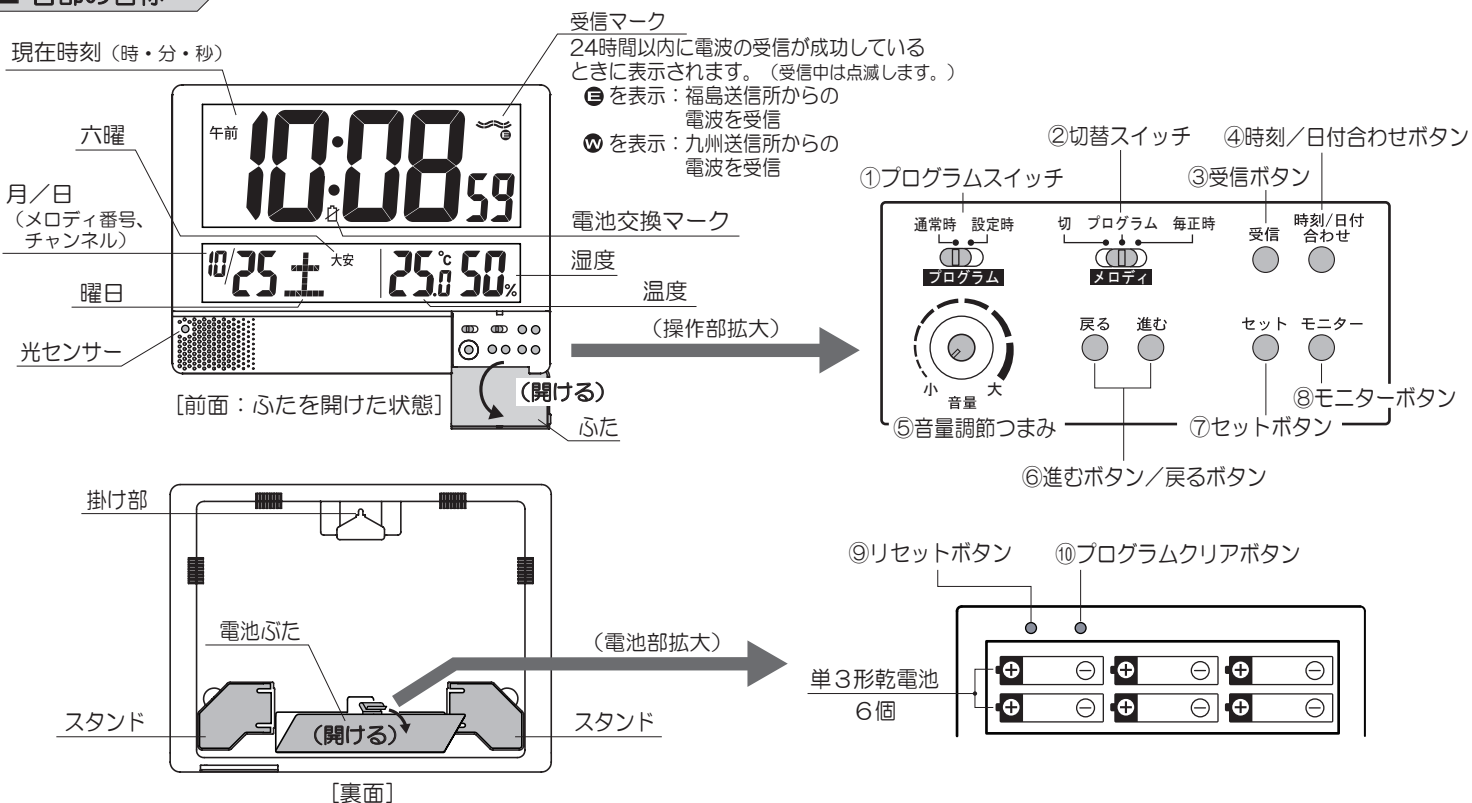
▶ 製品仕様

- 時間精度：平均月差±30秒（気温5℃から35℃で使用した場合）（電波受信による時刻修正を行わない場合）
 - 表示精度：±1秒（電波受信による時刻修正を行った直後）
 - 使用温度範囲：-10℃～+50℃（表示判読可能温度範囲 0℃～+40℃）
 - カレンダー：2000年1月1日～2099年12月31日のフルオートカレンダー（月末、うるう年も修正不要）
 - 六曜表示：2000年1月1日～2030年12月31日
 - 温度測定範囲：0℃～+40℃（測定範囲内での精度±2℃）
 - 湿度測定範囲：25%RH～85%RH（測定範囲内での精度25℃で±8%）
 - 表示：日付（月/日、曜日）、午前/午後表示による12時間制または24時間制表示、周囲温度（℃）・湿度（%）、六曜
 - 使用電池：単3形乾電池 6個
 - 電池寿命：約1年
※単3アルカリ乾電池（LR6）6個を使用時。
※1日につき音量（中）で16回報時した場合。
 - 電波受信機能：自動受信（午前2時から3時間ごと。次回の受信までクォーツの精度で動いています。）
手動受信
 - 電池切れ予告機能：電池交換マークを表示して、電池交換時期をお知らせします。
 - 光センサーによる自動停止機能：正時メロディのみ、暗くなると報時を停止します。※プログラムメロディのときは、動作しません。
 - プログラムチャンネル：最大32チャンネルを曜日単位、分単位で設定できます。（電池交換時データバックアップ有）
 - 音量：無段階式
- ※上記の製品仕様は改良のため予告なく変更する場合があります。
※電池寿命はご使用条件により、変わる場合があります。

ご使用方法

時計のデザインにより電池、ボタンの位置等は異なる場合があります。

■ 各部の名称



①プログラムスイッチ

・プログラムメロディを設定するときに使用します。
※通常はプログラムスイッチを「通常時」に合わせて使用してください。

②切替スイッチ

・メロディの報時方法を選択するときに使用します。

③受信ボタン

・通常表示 (プログラムスイッチ: 通常時) のときに押すと標準電波の受信を開始します。
・プログラムメロディの設定 (プログラムスイッチ: 設定時) の際、曜日を選択するときに使用します。

④時刻/日付合わせボタン

・手で現在時刻や日付を合わせるときに使用します。
(2秒以上押し続けてください。)

⑤音量調節つまみ

・メロディの音量を調節するときに使用します。

⑥進むボタン/戻るボタン

・手で現在時刻や日付を合わせるときやプログラムメロディを設定するときに使用します。

⑦セットボタン

・プログラムメロディを設定するときに使用します。

⑧モニターボタン

・メロディの試し鳴らしのときに使用します。

⑨リセットボタン

・電池交換後は必ず押してください。

⑩プログラムクリアボタン

・プログラムしたデータを消すときに使用します。

■ ご使用方法

※製品によって、表示部に透明シールが貼ってあります。貼ってある場合、ゆっくりとはがしてください。
(このとき静電気により黒い線、しみなどが発生することがありますが、しばらく放置しますと元に戻ります。)

1. 電池を入れてください (単3形乾電池 6個)

裏面の電池ふたを開けて、電池を入れてください。
必ず ⊖ 側から ⊕ ⊖ をまちがえないように注意して入れてください。
※種類の異なる電池を混ぜて使用しないでください。
※充電式電池や初期電圧の高い電池を使用しないでください。
正常に動作しない、電池寿命が短くなるなどの不具合が発生する場合があります。

2. 「⑨リセットボタン」を先端の細いもので押してください

表示が全てついた後、時刻「午前12:00」となり、標準電波の受信を開始します。
注) 電池交換後は、必ず「⑨リセットボタン」を押してください。

3. 時計を設置してください

本機を使用したい場所に設置してください。この際、窓際などできるだけ電波を受信しやすい場所に設置してください。

- 受信中は、● マーク (または ● マーク) が点滅し、受信マーク が受信状態に応じて変化します。
- 受信に要する時間は最長約16分間です。

【受信成功】

受信マーク が表示され、正しい日付と時刻に修正されます。
● 受信成功後、正しく表示されているかをご確認ください。

【受信できない】

受信マーク は表示されず、時刻、日付の修正は行なわれていません。P.5「■電波を受信できなかった場合」にしたがって場所を変えて再度受信させるか、手動操作で時刻、日付を合わせてください。

- 使用場所の受信状態が良くない場合は、数分で受信を中断することがあります。



プログラムメロディ・正時メロディを設定する

2つの鳴らし方が選択できます。

【1】正時メロディ

毎正時をメロディでお知らせします。
暗い所では報時は致しませんので、メロディを気にすることなくおやすみになれます。

【2】プログラムメロディ

設定した曜日と時刻に選択した曲でお知らせします。
曜日、時刻および曲の組合せを1チャンネルとして、最大32チャンネルのプログラムを分単位で設定できます。

【1】正時メロディについて（毎正時にメロディを鳴らす）

前面のふたを開け、「②切替スイッチ」を「**毎正時**」に、「①プログラムスイッチ」を「**通常時**」の位置に合わせて、ふたを閉めてください。

●メロディは正時ごとに切り替わります。

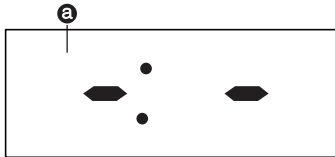
（曲目：「ウエストミンスター」「マイスター・ジグ」「グリーン・スリープス」「美しき青きドナウ」「ブラムスの「ワルツ第15番」「時の踊り」）

●光センサーにより、暗い所では自動的に報時は行いませので、メロディを気にすることなくお休みになれます。

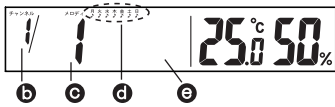
【2】プログラムメロディについて（プログラムを設定する）

1. プログラムの設定をはじめ

前面のふたを開け、「①プログラムスイッチ」を「**設定時**」の位置に合わせてください。



- ① 報時する時刻(時・分)を表示します。
- ② プログラムのチャンネルの番号を表示します。
- ③ 選択するメロディの番号を表示します。
- ④ 報時する曜日を♪表示します。
- ⑤ 設定対象の曜日を大きく表示します。



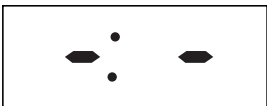
【以降、下の《例》を用いて設定手順を説明します】

《例：チャンネル2へ、月曜日から金曜日の午前8時30分にメロディ5が鳴るように設定する。（※12時間制表示）》

2. プログラムするチャンネルを選択する

チャンネルの番号表示②が点滅していることを確認してください。他の箇所が点滅している場合は、「⑦セットボタン」を押してチャンネルの番号を点滅させてください。

※初期はチャンネル1を表示します。



- (1) 「⑥進むボタン/戻るボタン」を押して、2(チャンネル2)に合わせてください。
- (2) 「⑦セットボタン」を押してください。
⇒時刻表示①の - : - の表示が点滅します。

※プログラムは最大32チャンネルの登録ができます。

3. プログラム時刻を設定する



- (1) 「⑥進むボタン/戻るボタン」を押してください。
⇒時刻表示①に時刻が表示され、時桁が点滅します。
- (2) 「⑥進むボタン/戻るボタン」を押して、午前8(時)に合わせてください。

※ボタンを押し続けると早送ります。

- (3) 「⑦セットボタン」を押してください。
⇒時刻表示①の分桁が点滅します。
- (4) 「⑥進むボタン/戻るボタン」を押して、30(分)に合わせてください。
- (5) 「⑦セットボタン」を押してください。
⇒曜日表示④の ♪ ♪ ♪ ♪ ♪ ♪ ♪ の曜日表示が点滅します。

4. 対象の曜日を設定する

●♪が表示されている曜日に報時します。
●初期は、すべての曜日に報時するように設定されています。
(…土曜日と日曜日は報時しないように設定します。)



- (1) 曜日表示④に土を表示するまで「⑥進むボタン/戻るボタン」を押してください。
- (2) 「③受信ボタン」を押してください。
⇒曜日表示④の ♪ ♪ ♪ ♪ ♪ ♪ ♪ の土曜の下にされていた♪表示が消えます。

※「③受信ボタン」を押すたびに♪の表示 無/有 をくり返します。
[♪表示無：報時しない] [♪表示有：報時する]

- (3) 曜日表示④に日を表示するまで、「⑥進むボタン/戻るボタン」を押してください。
- (4) 「③受信ボタン」を押してください。
⇒曜日表示④の ♪ ♪ ♪ ♪ ♪ ♪ ♪ の日曜の下に表示されていた♪表示が消えます。

※♪を表示させる場合は、曜日表示④をその消えている曜日に合わせたのち、「③受信ボタン」を押してください。

※すべての♪の表示を消す場合は、「③受信ボタン」を♪の表示が消えるまで押し続けて(2秒以上)ください。

- (5) 「⑦セットボタン」を押してください。
⇒メロディの番号表示③が点滅します。

5. メロディを選択する

※初期はメロディ1が設定されています。

- (1) 「⑥進むボタン/戻るボタン」を押して「5」(メロディ5)に合わせてください。

●選んだメロディを試し鳴らします。

[メロディの曲目]

1. ウエストミンスター
2. マイスター・ジグ
3. グリーン・スリープス
4. 美しき青きドナウ
5. ブラムスの「ワルツ第15番」
6. 時の踊り

- (2) 「⑦セットボタン」を押してください。
⇒左記「2. プログラムするチャンネルを選択する」に戻ります。

※複数のチャンネルを設定するときは、「2. プログラムするチャンネルを選択する」から繰り返し、操作してください。

※「⑦セットボタン」を押さずにプログラムスイッチを「通常時」に切り替えた場合、設定は記憶されない場合があります。

6. プログラムを終了する

「①プログラムスイッチ」…「通常時」 } の位置に合わせて
「②切替スイッチ」……………「プログラム」 } ください。

※下記の場合はプログラムによる報時はしません。

- ・「②切替スイッチ」が「切」または「毎正時」のとき
- ・試し鳴らし(モニター)中
- ・「①プログラムスイッチ」が「設定時」のとき
- ・手動で時刻を合わせているとき

※同じ曜日、同じ時刻に複数のプログラムが設定された場合、チャンネル番号の大きいプログラムで設定されているメロディで報時します。

■ プログラム内容の保持と消去

1. プログラム内容の保持

プログラムの内容は、リセットボタン操作や電池交換を行っても保持します。

2. プログラム内容の消去

2つの方法があります。

【任意のチャンネルだけ消去する】

「①プログラムスイッチ」を「設定時」の位置に合わせ、「⑥進むボタン/戻るボタン」を押して消去したいチャンネルを表示させ、時計裏面の「⑩プログラムクリアボタン」を押してください。

【すべてのチャンネルの設定を一度に消去する】

「①プログラムスイッチ」を「通常時」の位置に合わせ、時計裏面の「⑩プログラムクリアボタン」を現在時刻表示部に「[L]」と表示されるまで(約4秒以上)押し続けてください。

■ メロディを鳴らさない


「①プログラムスイッチ」…「通常時」 } の位置に合わせて
「②切替スイッチ」……………「切」 } ください。

■ 自動受信について

午前2時から3時間ごとに、自動で電波受信を行います。
受信に成功すると現在表示している時刻、日付を修正します。

■ 電波を受信できなかった場合

1. 電波を手動で受信させ、時刻、日付を合わせる

- 「③受信ボタン」を押してください。標準電波の受信を開始します。
- 受信状態については、P.3「■ご使用方法」をご覧ください。
 - うまく受信できない場合は本体の向きや場所をかえて、もう一度受信させてください。ご使用中に受信マーク  が表示されない場合は使用場所の受信状態が良くないことが考えられます。
 - 詳しくはP.2「電波クロックについて」をご覧ください。
夜間は昼間に比べて受信状態が良くなりますので、昼間に受信できなかった場合でも翌日までに自動で受信できる場合があります。

2. 手動で時刻、日付を合わせる

電波を受信できない場合は、手動で時刻、日付を合わせてご使用ください。

- 「④時刻/日付合わせボタン」を2秒以上押し続けてください。
- 「④時刻/日付合わせボタン」を押すごとに、下図のように順に表示が点滅します。
- 「⑥進むボタン/戻るボタン」で日付や時刻を合わせてください。
 - 「⑥進むボタン/戻るボタン」を押し続けている間は早送りします。
 - 約5分以上「⑥進むボタン/戻るボタン」が押されなかった場合は、自動的に「通常表示」に切り替わります。

〈時刻表示〉



【通常表示】
普段はこの表示でお使いください。



[-年- 合わせ表示]
「⑥進むボタン/戻るボタン」で年を合わせてください。
2000年～2099年まで合わせられます。
※曜日と六曜（2030年まで表示）は自動で合います。



[-月- 合わせ表示]
「⑥進むボタン/戻るボタン」で月を合わせてください。



[-日- 合わせ表示]
「⑥進むボタン/戻るボタン」で日を合わせてください。



[-時分- 合わせ表示]
「⑥進むボタン/戻るボタン」で時分を合わせてください。
※「⑥進むボタン/戻るボタン」を押した瞬間に、秒表示は0秒にリセットされます。



[-分秒- 合わせ表示]
「⑥進むボタン/戻るボタン」で分秒を合わせてください。
※「⑥進むボタン/戻るボタン」を押した瞬間に、秒表示は0秒にリセットされます。



【12/24時間制選択表示】
「⑥進むボタン/戻るボタン」で12時間制または24時間制を選んでください。



- 12/24時間制選択が終了しましたら、「④時刻/日付合わせボタン」を押して「通常表示」に切り替えてください。

■ 自動受信を止めるには

この時計には自動受信を止める機能があります。
（誤受信の防止や設定時刻をずらしてお使いになりたい場合等にご使用ください。）

- 「③受信ボタン」を、“OFF”が表示されるまで8秒以上押し続けてください。
- 左記「■電波を受信できなかった場合 2.手動で時刻、日付を合わせる」にしたがって時刻を合わせてください。
 - この機能を設定した後も「③受信ボタン」を押すと受信を行います。その後自動受信はしません。
 - この機能を解除するには、「③受信ボタン」を、“ON”が表示されるまで8秒以上押し続けてください。

■ 試し鳴らし（モニター）について

「①プログラムスイッチ」が「通常時」のとき、「⑧モニターボタン」を押すと試し鳴らしをすることができます。
「⑤音量調節つまみ」を回してお好みの音量に調整してください。


■ 鳴り止めについて

報時中に「②切替スイッチ」を切替えると報時を中断します。

■ 設定したプログラムを確認するには

「①プログラムスイッチ」が「通常時」のとき、「⑥進むボタン/戻るボタン」を押すたびに各チャンネルの設定内容を約4秒間表示します。このとき「⑧モニターボタン」を押すと設定されているメロディの試し鳴らしができます。



■ 電池切れ予告機能について

この時計には電池切れ予告機能がついています。
電池の残量が少なくなると、電池交換マーク  を表示し、交換時期をお知らせします。新しい電池にすべて交換してください。
（※電池交換マークは製品によって点滅します。）

■ 光センサーによる自動鳴り止めについて

光センサーにより明るさを検出し、暗いところでは、正時メロディによる報時はいたしません。
●プログラムメロディのときは、動作しません。

■ 12時間制/24時間制の選択について

時刻の表示方法を切り替えるときは、左記「■電波を受信できなかった場合 2.手動で時刻、日付を合わせる」にしたがって、12時間制または24時間制表示を選んでください。
（受信マーク  が表示されている場合、時刻の表示方法を切り替えると受信マーク  は表示されませんが、その後受信に成功すると再度表示されます。）
※「⑨リセットボタン」、「⑩プログラムクリアボタン」を押しても設定は消えません。

■ 温度・湿度表示について

- センサーが時計内部にあるため、時計周囲の温度・湿度が変化しても表示が変わるまで時間がかかります。
 - 温度・湿度が以下の状態になったときの表示
 - 温度 -30℃より低い：「L o」、+60℃より高い：「H I」
 - 湿度 20%より低い：「L o」、90%より高い：「H I」
 ただし、湿度表示は温度が0℃～+60℃以外の状態では「—」と表示されます。
- ※本製品は室内用です。また、厳密な温度・湿度管理を行う用途には適していません。

■ ご注意

- この製品には、マイコンが内蔵されています。静電気等により表示不良等誤作動することがありますが、故障ではありません。リセットボタンを押してください。
- リセットボタンを押した場合は、プログラム及び12時間制/24時間制の設定以外はリセットされます。
- この製品は、日本標準電波仕様ですので、海外で電波修正機能は使用できません。
- 電池交換後は、必ず「⑨リセットボタン」を押してください。

■ この時計は掛時計・置時計兼用でご使用になれます

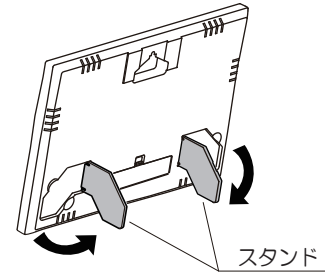
⚠ 注意

■ 置時計としてご使用になる場合

しっかりと裏面のスタンドを立てて水平で振動などが無い場所に置いてください。
無理な荷重を加えないでください。スタンドが破損することがあります。

■ 掛時計としてご使用になる場合

掛ける際に、必ず裏面のスタンドが出ていないことをご確認ください。



故障かなと思ったときには ▶

製品が正常に作動しないときは、修理を依頼する前に、この表を参考にお調べください。
なお、新しい電池と交換される際は、電池の使用推奨期限をご確認のうえご使用ください。

症状	考えられる原因	処置	
表示が出ない	• 電池が入っていない。	• 新しい電池を、電池の向きを確かめて入れて、「リセットボタン」を押してください。	
	• 電池の容量が少なくなっている。		
液晶表示が欠けている	• 電池が正しい向きで入っていない。	• 電池を正しく入れ直して、確実に「リセットボタン」を押してください。	
	• きちんとリセットされていない。		
メロディが鳴らない	• 電池の容量が少なくなっている。	• 新しい電池を、電池の向きを確かめて入れて、「リセットボタン」を押してください。	
	• きちんとリセットされていない。		
時刻またはカレンダーが合っていない	• 切替スイッチが切になっている。	• 切替スイッチを プログラム または 毎正時 にしてください。	
	• 暗くなり光センサーが働いている。		• 室内を明るくすると鳴ります。
	• 静電気等による誤動作。		• 確実に「リセットボタン」を押してください。
受信に成功していない	• 受信に成功していない。	• P.5「 電波を受信できなかった場合 」をお読みになり、再度受信させてください。	
	• 電池の容量が少なくなっている。		• 新しい電池を、電池の向きを確かめて入れて、「リセットボタン」を押してください。
	• きちんとリセットされていない。		• 電池を入れ直してから確実に「リセットボタン」を押してください。

【プログラム設定表】

設定した内容のメモにお使いください。

チャンネル	時刻	曜日							メロディ	メモ
		月	火	水	木	金	土	日		
1	:									
2	:									
3	:									
4	:									
5	:									
6	:									
7	:									
8	:									
9	:									
10	:									
11	:									
12	:									
13	:									
14	:									
15	:									
16	:									
17	:									
18	:									
19	:									
20	:									
21	:									
22	:									
23	:									
24	:									
25	:									
26	:									
27	:									
28	:									
29	:									
30	:									
31	:									
32	:									

この取扱説明書の内容は、予告なしに変わることがあります。
印刷による制限のため、この取扱説明書中の図が、実際の表示と異なる場合があります。
この時計によって生じたいかなる支出、損益、その他の損失に対してなんら責任を負いません。
この取扱説明書を製造者の許可なくして変更・複製することを禁じます。

本製品、ならびにアフターサービスなどにつきましてご不明なことがございましたら、製品本体の裏面または底面に表示してあります製品番号(品番)をご確認のうえ、セイコークロック(株)お客様相談室にお問い合わせください。

(例：AM000、PW000、KR000など)

お客様相談室

0120-315-474

<http://www.seiko-clock.co.jp>

発売元

セイコークロック株式会社